

全建総連が政党・省庁に要請行動 建設職人のくらし・仕事を守る 予算を



自民党への要請行動

「けんせつ」2324号でお伝えしたように、全建総連で例年行なっている中央総決起大会は中止となりましたが、同時に行なっていた政党、省庁への要請行動は、新型コロナウイルス感染症予防対策として人数と時間を縮小して7月中に行ないました。その内容の一部を紹介します。

自民党 アンケート結果に基づき 受注減の窮状訴える

森英介労政局長には、吉田委員長から自由民主党の安倍晋三首相宛ての「建設業の就労環境の改善、来年度予算に関する要請」書が手渡されました。

森英介労政局長には、吉田委員長から自由民主党の安倍晋三首相宛ての「建設業の就労環境の改善、来年度予算に関する要請」書が手渡されました。

森英介労政局長には、吉田委員長から自由民主党の安倍晋三首相宛ての「建設業の就労環境の改善、来年度予算に関する要請」書が手渡されました。

森英介労政局長には、吉田委員長から自由民主党の安倍晋三首相宛ての「建設業の就労環境の改善、来年度予算に関する要請」書が手渡されました。

職安局 処遇改善と担い手確保は 1丁目1番地に



厚労省・職安局への要請行動

要請団は松本副委員長他4人、職安局は、建設・港湾対策室から福岡室長など3人が対応。主な要請項目は、①担い手確保における国交省との連携強化、②CCUSにおける能力評価において処遇改善を図った事業主への支援制度拡充、などに関する施策について意見交換しました。

冒頭、福岡室長から「技能者の処遇改善と担い手確保は1丁目1番地の重要な課題と認識。今年度は建設雇用改善の新計画を検討する年で、全

森英介労政局長からの「ゼネコンも相当受注が落ち込んでいますのか」の問いに、勝野書記長は「非常事態宣言中は現場を閉鎖し、作業を中止した大手ゼネコンもあった。その休業補償したゼネコンもある」と応えました。

森英介労政局長からの「ゼネコンも相当受注が落ち込んでいますのか」の問いに、勝野書記長は「非常事態宣言中は現場を閉鎖し、作業を中止した大手ゼネコンもあった。その休業補償したゼネコンもある」と応えました。

豪雨被害対策 に協力したい



国交省・住宅局への要請行動

「社会資本整備総合交付金の拡充は、地方公共団体へ耐震改修などのリフォーム助成や、住宅取得喚起につながる政策を地方公共団体が独自に計画している場合についても支援を行なう。今後も必要な財源確保に努める」と述べた。

林野庁 SDGs や環境対応で
国産材に追い風

林業成長産業化対策として国産材の利用促進の要望には、「要望は大事だと認識しており、国産材にするための技術開発を行なっている。『顔の見える木材を利用した家づくり事業』で、成熟した木材を利用し、付加価値を高めながら家づくりをしてもらう支援を行なっており、来年度も予算要求を続けていく」と回答がありました。

住宅局 新築・リフォーム市場の 早期の需要喚起を

木質中央執行委員を代表に3人で要請し、国交省は眞鍋住宅局長をはじめ7人が対応しました。

新築・リフォーム市場を早期回復させる需要喚起策への要望には、「今般の感染症拡大による影響が深刻な状況にあり、国産材の活用促進を期待している」と述べた。

住宅の建設計画が伝わってきたら協力したい」と述べた。

効果的な施策をすすめる

建設キャリアアップシステム(CCUS)の町場での普及促進については、「本年度、現場にカードリーダーを設置しなくても携帯電話やスマフォのGPSを活用して、指定された現場の番号に電話をかける」と就労履歴が蓄積されていくシステムを中小企業向けに、安価で就労履歴が蓄積できるように開発を行なっていく」と引き続き、全建総連等の関係団体と連携し、周知と登録推進を図るべく必要な予算確保に努めていきたい」と回答しました。

林野庁 SDGs や環境対応で 国産材に追い風

林業成長産業化対策として国産材の利用促進の要望には、「要望は大事だと認識しており、国産材にするための技術開発を行なっている。『顔の見える木材を利用した家づくり事業』で、成熟した木材を利用し、付加価値を高めながら家づくりをしてもらう支援を行なっており、来年度も予算要求を続けていく」と回答がありました。